



ふ れ あ い

市長室



南あわじ市長 守本 憲弘

学ぶ楽しさ日本一ってどういうこと

南あわじ市の教育の目標は、「学ぶ楽しさ日本一」です。これは、子供達の学習にも、大人の生涯学習にも共通しています。この意味を、「これまでの教育」と「これからの教育」という図式で考えてみましょう。

私が生まれた頃は、日本の戦後高度成長のピークでした。欧米先進国に、経済力で追いつき、追い越し、1980年半ばには、世界一豊かな国にもなりました。

その成長を支えたのが、日本の教育制度です。日本の学校は、質の高い人材を大量に社会に送り出すことで、経済社会の発展を支えました。この時期、日本は、欧米の先進的な技術や社会制度を採り入れ、自国に適用させていくことで、積極的に投資していくこともできました。

一方、1990年代に入ると、我が国の成長は停滞します。さまざまな要因が指摘されていますが、教育に関わる点で最も重要なことは、「取り入れるべき模範」、「必ず成功する方法」が見えなくなったこ

とです。現代では、日本が世界に先行する「人口減少」、「急速な高齢化」、「地球環境問題」など、模範や手本となる方法がない中で、自分たちで試行錯誤しつつ答えを見つけ出さなければならない時代になりました。

このような時代に求められるのは、自ら情報を集め、実験し、知識を深める姿勢、周囲を巻き込んで挑戦を続ける人間力、日々変化する技術や知識に対し、生涯学び続ける意欲です。この姿勢や能力を、幼児期、学校、そして地域社会で浸透するために最も重要なことは、「学ぶ楽しさ」を実感し、自ら探求し学び合うことの習慣化です。

この4月に就任した新宅教育長は、早くから教育改革の必要性を認識し、阿万小学校校長として、取り組んでこられました。私も算数の授業を見学させていただきました。前半は先生による解法の説明があり、後半は、進行係の児童が前に出て、子ども同士の意見交換を進めて行きます。算数の苦手な子どもも指名されて、発表していましたが、とても自然で、温かい雰囲気が漂っていました。この学校は、現在、成績も伸び、不登校もほぼゼロで、障がいを持つ子どもも通常教室で仲良く学んでいます。

これまで取り組んで来た読書活動推進やふるさと創造プロジェクト(人形浄瑠璃をテーマとする体験授業)、防災教育なども活用しつつ、「学びを楽しむ」子どもたちを育てる学校教育を南あわじ市全体に浸透していただけることを期待しています。

吉備国際大学からのお知らせ



「地方自治体と第1次産業」
守本市長が講演

5月14日に農学部1年生を対象にした必修科目「グローバルスタディーズ入門」の講義が行われ、守本市長にご登壇いただきました。



講演する守本市長

地域創成農学科・海洋水産生物学科の学生ら合わせて約80名が、守本市長の講演を聴講しました。南あわじ市の恵まれた一次産

業、豊かな自然や歴史、南あわじ市のふるさとづくりの取り組みなどについて、市長から直接お話いただきました。島外からの下宿生・通学生が多くを占めている中、これから大学生活の4年間を過ごす南あわじ市について知ることができた、大変貴重な90分間となりました。守本市長をはじめ、南あわじ市職員の方々には大変お世話になりました。今後とも市民の皆さまには学生のご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

オープンキャンパスのお知らせ

日時 7月14日(日) 11:00～15:30
場所 吉備国際大学南あわじ志知キャンパス
内容 学科紹介、ミニ講義、個別相談など
申込み・問合せ(要予約)
大学ホームページからの申込みもしくは電話予約
入試広報室フリーダイヤル ☎ 0120-25-9944



トイレカー(奥、右下写真)の活用実績を報告する職員ら



珠洲市からのメッセージ



南あわじ市の自走式トイレカーを、能登半島地震で被災した石川県珠洲市に、令和6年1月7日～5月31日の間派遣し、約5カ月の支援を終え帰庁しました。トイレカーは市が令和2年に導入し、昇降機付きオストメイト対応トイレなど7つの便器を備え、水700リットル満タンの状態で約1000回の使用が可能。珠洲市では健康増進センターに設置され、仮設トイレは衛生面で不安だという声もある中、

トイレカーは衛生的で、高齢者や妊婦など、多くの人に喜ばれました。6月7日にトイレカーの帰庁報告会が行われ、トイレカーの実績や給水場所を確保することの難しさなど、今回の災害派遣で見えてきた課題について報告しました。

今後の災害への備え
自走式水洗トイレカー帰庁報告

第16回 南あわじ市
ふれあい文化芸能祭

【展示部門】

- ▶場所 市地区公民館 (9:00～17:00)
- 写真 7月3日(水)～7日(日)
- 手工芸・文芸 7月10日(水)～15日(月)
- 書道 7月18日(木)～22日(月)
- 盆栽 7月13日(土)～14日(日)

【カラオケ部門】

- ▶日時 7月13日(土) 13:00開演
- ▶場所 市地区公民館2階大ホール

【芸能部門】

- 大正琴、舞踊、和太鼓、三味線、伝統芸能、郷土芸能など
- ▶日時 7月14日(日) 10:00開演
- ▶場所 市地区公民館2階大ホール
- 園市文化協会事務局(生涯学習推進室内)
☎ 42-5957



被災地で支援に当たった河井副課長(奥左)と川端主査(奥右)

被災地での活動内容を報告
保健師を石川県穴水町に派遣

5月12日～19日、国からの要請を受け、市民福祉部健康課保健師の河井美和副課長と川端佳奈主査を石川県穴水町に派遣しました。現地では、指定避難所や仮設住宅を訪問し、被災者の健康状態の確認など被災者支援に当たりました。5月28日に行われた報告会では、現地での活動内容

のほか、被災者との関わりの中で感じたことを報告。今後、市内で大規模災害が発生した時に、どういった対応を取る必要があるかなど、市長らと意見を交わしました。市ではこのような活動報告をする中で、派遣から得られた気づきや課題を市全体で共有し、今後も災害に強いまちづくりを目指します。